

# 飲酒と自殺の関係

## 疫学調査(国レベル)

---

### 1. アルコール消費量と自殺率

アルコール消費量と自殺率で正の相関を示す調査が多い

### 2. 消費量の増減と自殺率

消費量の増減と自殺率は並行して動くようだ

例

#### 1) ロシア

1985年からの反アルコールキャンペーンでアルコール消費量が大幅に下がった。1984年に比べて、1990年に自殺率が、男性で32%、女性で19%低下した。

#### 2) エストニア

1985年から反アルコールキャンペーンが行なわれた結果、国民一人当たりの飲酒量が年間純アルコールに換算して10.9Lから6.6Lへと大幅に減少したが、この間に自殺遺体のアルコール検出率が男性で39.2%、女性で41.4%減少した。